療法名 S−1+GEM

適応 胆道癌

抗癌剤適応分類 進行・再発癌

第3版	2025年1月
登録番号	胆−3
登録年月日	2014年2月

投与順	抗癌剤名（一般名）	【略語】	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	**エスワンタイホウ®** （テガフール・ギメラシル・オテラシルカリウム ）	S−1	80mg※	経口	朝・夕食後	d1～14
2	**ゲムシタビン** （ゲムシタビン塩酸塩）	GEM	1000mg/㎡	点滴静注	30分	d1、d8

	day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21										
S−1	80mg※	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																	
GEM	1000mg/㎡	↓							↓																							

1コース期間 （次のコースまでの標準期間）	3週(S−1:2週投薬1週休薬、GEM:day1、8投与）
総コース数	PDまで
コース間での休薬規定	チェックリスト参照

減量規定・中止基準	チェックリスト参照 ※ S−1は体表面積に合わせて投与量を調節する：1.25㎡未満：60mg/日、1.25㎡以上～1.5㎡未満：80mg/日、1.5㎡以上：100mg/日
投与量の増量規定	増量基準に該当する場合、S−1増量法(チェックリスト参照)に従い増量可
投与間隔の短縮規定	コース内の投与間隔は短縮不可、コース間の投与間隔(d15～次コースd1)は最大2日間短縮可
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	なし
プレメディケーション	GEM投与日にデキサメタゾン注6.6mg＋パロノセトロン注0.75mg点滴静注 （レジメン別催吐性リスク：中等度）
ポストメディケーション	ルーチンではなし

主な副作用とその対策	チェックリスト参照
患者条件	チェックリスト参照
除外規定	チェックリスト参照
実施上の注意点	胸部放射線照射：併用禁忌。腹部放射線照射：毒性増強、併用注意 照射後にGEMの投与を行う場合、少なくとも3カ月のインターバルをもうける
	GEMは60分以上かけて点滴静注すると副作用(骨髄抑制、肝機能障害)発現の頻度と程度が上昇するため、30分で点滴静注すること
	フッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍薬、フルシトシンとは併用しない フェニトイン、ワルファリンカリウムとの併用により副作用増強

備考	なし
治療成績	JCOG0805試験(フェーズ2試験)にて1年生存率、PFS(無憎悪生存期間)の中央値共にS−1単剤よりも優越性が証明された 2014年2月現在、フェーズ3(vsGC)進行中
その他	術後補助に対しての臨床試験も進行中（vs S−1)。今後適応拡大の見通し。

参考文献 JCOG0805試験概要
大鵬薬品 GEST試験安全性情報